

岩手県金融経済概況（2020年12月）

1. 概 況

県内経済は、厳しい状態にあるが、持ち直しの動きが続いている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、持ち直しの動きが続いているが、サービス消費などで下押し圧力が強まっている。公共投資は、緩やかに増加している。住宅投資は、減少している。設備投資は弱めの動きとなっている。

生産は、持ち直している。雇用・所得環境をみると、弱めの動きとなっている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、持ち直しの動きが続いているが、サービス消費などで下押し圧力が強まっている。

百貨店売上高（全店舗ベース；2020年12月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比 Δ 7.7%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；2020年12月）は、3ヵ月振りに前年を下回った（前年比 Δ 1.5%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞；2020年12月）は、3ヵ月連続で前年を上回った（前年比+16.9%）。

この間、サービス消費は、新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響から、飲食・宿泊を中心に、厳しい状態となっている。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2020年12月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比 Δ 35.5%）。

新設住宅着工戸数（2020年11月）は、7ヵ月連続で前年を下回った（前年比 Δ 30.0%）。

—— 持家（前年比+6.7%）は 2 ヶ月振りに前年を上回った。貸家（同△56.8%）は 3 ヶ月連続で前年を下回った。分譲（同△13.2%）は 4 ヶ月連続で前年を下回った。

民間設備投資（2020 年 12 月短観ベース；2020 年度計画）は、前年を下回る計画（前年比△26.8%）となっている。

—— 製造業（前年比△24.5%）、非製造業（同△29.5%）とも、コロナ禍による収益悪化を背景として、不要不急の投資を先送りする先がみられたことから、前回調査（9 月短観）比減少幅が拡大する計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2020 年 11 月）は、17 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△6.7%）。

3. 生産動向

生産は、持ち直している。

鉱工業生産指数（季節調整値；2020 年 11 月）は、4 ヶ月振りに前月を下回った（前月比△3.9%）。

—— 主な業種の動きをみると、電子部品・デバイス、はん用機械、業務用機械が上昇した一方、生産用機械、輸送機械、食料品が低下した。

なお、四半期の動きをみると、2020/7～9 月は 3 期振りに前期を上回った（2019/10～12 月：前期比+2.1%、2020/1～3 月：同△5.9%、4～6 月：同△10.7%、7～9 月：同+1.2%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、弱めの動きとなっている。

有効求人倍率（季節調整値；2020 年 12 月）は、1.06 倍と前月を上回った（2020 年 11 月は 1.02 倍）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；2020 年 12 月）は、12 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△0.9%）。

雇用者所得（県内合計値；2020 年 10 月）は、常用雇用指数（前年比+1.5%）が前年を上回ったものの、名目賃金指数（同△3.2%）が前年を下回ったことから、4 ヶ月連続で前年を下回った（同△1.8%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；2020年12月）は、6ヵ月連続して前年を下回った（前年比△0.8%）。

内訳をみると、被服及び履物、住居、諸雑費が上昇した一方、教養娯楽、光熱・水道、交通・通信などが下落した。

6. 企業倒産

企業倒産（2020年12月）は、5件、2,015百万円（前年同月；5件、901百万円）と、前年と比べて、件数は同水準となったが、金額は増加した。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2020年11月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2020年11月）は前月に比べて低下した。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/morioka/>

<ホームページ>

